

### 3. 授業改善のヒント

#### STAGE 1 目標の設定 ～CAN-DO リスト～

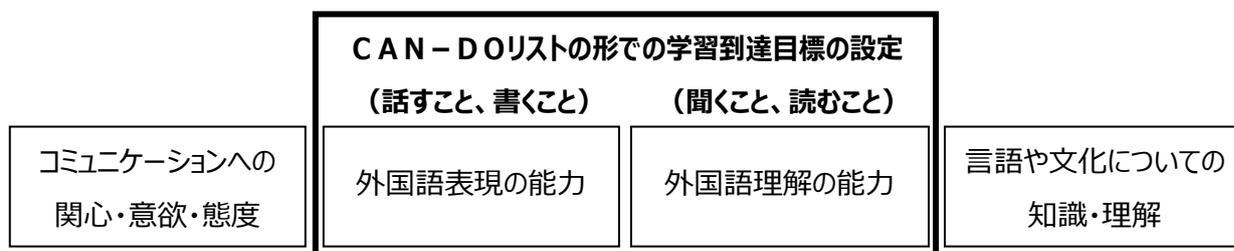
##### POINT

「何ができるようになるのか」を明らかにした授業づくり

#### (1) CAN-DO リストとは

英語力を育成するためには、授業で「生徒が身につける力」を明確にすることが重要です。それは「三人称単数現在形の文が書ける」や「動名詞の使い方を理解することができる」というようなことではなく、実際の場面において、英語を使って何ができるかを明確化することです。

CAN-DO リストとは、こうした考えを踏まえて、英語の学習到達目標について、4 技能を用いて「～することができる」という形で学習段階ごとに整理した一覧です。各中・高等学校が、学習指導要領に基づき、生徒に求められる英語力を達成するため、学校の状況や生徒の実態等に応じて設定します。CAN-DO リストの形での学習到達目標は、観点別学習状況の評価における4つの観点のうち、「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」について設定します（下図参照）。



#### (2) CAN-DO リスト作成のねらい

教科書の内容を教えることに精一杯になっていると、語句や文法事項の習得が目的になり、「最終的にどのような生徒を育てたいのか」ということを見失ってしまうことがあります。「教科書を教えるのではなく教科書で教える」という言葉がありますが、CAN-DOリスト作成のねらいは、教科書等を用いて、生徒が「何ができるようになるのか」を明らかにしながら、次の視点で授業を実施することにあります。

- 生徒が身につける能力を明確化し、指導と評価の改善に利用する。
- 4 技能を総合的に育成し、自らの考えを伝える能力、思考力・判断力・表現力を養う。
- 教員と生徒が目標を共有することで、生徒が主体的に学習する態度・姿勢を身につける。

研究協力校では、洋書を活用した英語学習の研究を行うにあたり、下記のような CAN-DO リストを作成・活用しました。

英語教育推進事業(中学校) 英語学習プログラム到達目標(例) ※H26年度入学生			
	1年生	2年生	3年生
読む *(は音読)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な自己紹介を読み理解することができる (例 Hello, my name is Ken. Nice to meet you. I like apples.)</li> <li>身近な話題に関して書かれた文章を読んで理解することができる (例 Our teacher lives in Osaka. He can play soccer well.)</li> <li>簡単な物語を読み、あらすじを正しく理解することができる(例 Oxford Reading Tree stage 3~4)</li> <li>意味のまとまりごとに適切に区切りながら声に出して読むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明文の大切な部分などを正確に読み取ることができる</li> <li>簡単な、ややまとまった量の物語を読み内容を正確に理解することができる(例 Oxford Reading Tree stage 5~6)</li> <li>書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読することができる</li> <li>音声、イントネーションを意識して声に出して読むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえることができる</li> <li>さまざまな種類の文章を目的に応じた読み方で読むことができる</li> <li>やや難しい、まとまった量の物語を読み正確に理解することができる(例 Oxford Reading Tree stage 7~8)</li> <li>大切なところを強調して読むなど、発話の意味を理解し、聞き手に正確に伝わるように声に出して読むことができる</li> </ul>
「読む」WPM目標	WPM40~60語	WPM60~80語	WPM80~100語
聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な自己紹介を聞いて、その内容を理解することができる</li> <li>クラスルームイングリッシュの他、行事などを行うことができる</li> <li>自分の興味・関心のある話題に関する英語の話を理解することができる(趣味や好きなことなど)</li> </ul>		
「聞く」WPM目標	WPM100~		
話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な自己紹介をすることができる</li> <li>自分の気持ちや相手に伝えることができる (例 I'm hungry. I feel sad. I'm glad to see...)</li> <li>絵や写真を用いて、身近な人物について説明 (例 Look at this picture. She is a famous singer. She sings very well...)</li> </ul>		
書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介文を書くことができる</li> <li>自分の興味・関心のあることについて短文程度</li> <li>手紙やメールなど、相手に自分の考えが伝わる</li> <li>読んだ物語の感想を短い文章で書くことができる</li> </ul>		
パフォーマンステストのねらい	[1学期] 2~3文程度の英文を読み内容を理解する(例 自分自身について説明する文)	[2学期] 2~3文程度の英文を読み内容を理解する(例 自分以外の他人について説明する文)	
			1年生
読む *(は音読)			<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な自己紹介を読み理解することができる (例 Hello, my name is Ken. Nice to meet you. I like apples.)</li> <li>身近な話題に関して書かれた文章を読んで理解することができる (例 Our teacher lives in Osaka. He can play soccer well.)</li> <li>簡単な物語を読み、あらすじを正しく理解することができる(例 Oxford Reading Tree stage 3~4)</li> <li>意味のまとまりごとに適切に区切りながら声に出して読むことができる</li> </ul>
「読む」WPM目標			WPM40~60語
			<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な自己紹介を聞いて、その内容を理解することができる</li> </ul>

#### <参考資料>

- ① 各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO」リストの形での学習到達目標設定のための手引き (平成 25 年 3 月 文部科学省)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm)

- ② 大阪版 英語 CAN-DO リスト (平成 27 年 11 月)

[http://www.osaka-c.ed.jp/contents\\_links/forteacher\\_top.html](http://www.osaka-c.ed.jp/contents_links/forteacher_top.html)

※パスワードが必要です